

＝そのほかの新刊＝

●駅物語 (朱野帰子) ●祈りの幕
が下りる時 (東野圭吾) ●明治・
妖モダン (畠中恵) ●千両かんば
ん (山本一力) ●かりんとう侍 (中
島要) ●ゼツメツ少年 (重松清)
●冬の旅 (辻原登) ●ニッチを探
して (島田雅彦) ●王になろうと
した男 (伊東潤) ●とっぴんばら
りの風太郎 (万城目学) ●アクティ
ブメジャーズ (今野敏) ●海と月
の迷路 (大沢在昌) ●すっぽん心
中 (戌井昭人) ●恋しくて (村上
春樹・訳) ●人生の究極 (森村誠一)
●未来は言葉でつくられる (細田
高広) ●ナチュラル洗剤でちょ
こっとピカピカ掃除! ●お料理上
手と思われる持ちより&さし入れ
レシピ (馬場香織) ●新しい認知
症ケア 介護編 (三好春樹)
【児童】
●おかしなゆきふしぎなこおり
(片平孝) ●ペンキやさん (あおき
あさみ) ●こぐまのミーシャ、サー
カスへ行く (イジー・トゥルンカ)
●かぜのふえ (やなせたかし)
●6人のお姫さま (二宮由紀子)



＝新刊図書案内＝

今月の一冊

『大番頭 金子直吉』
【鍋島高明著】

日本経済界の近代化に活躍した土佐の男たち。明治時代が、岩崎弥太郎・弥之助兄弟なら、大正時代は金子直吉を忘れてはならないでしょう。

直吉は、現在の仁淀川町出身です。貧しい暮らしのため無学でしたが、職場である質屋で多くの本を読み知識を得ました。いくつかの仕事を経験し、当時神戸にあった鈴木商店で昼夜を問わず働きます。店主亡き後、直吉の商才により、ついに三十業種、六十余りの企業を率いる一大総合商社を築きあげます。

明晰と勇気の人。土佐のごっそう金子直吉の生涯をたどってみませんか。

図書館 ☎42・2141

【休館日】月曜日・祝日 (月曜日が祝日の場合は、翌日休館)

表紙写真

土佐黒潮牧場

土佐黒潮牧場では、現役を終えた競走馬を引き取り、一頭でも多くの馬が幸せな余生を過ごせるように運営されています。

平成9年には「黒潮友馬会」を発足。会員の力が馬たちを生かす力になっています。

2014年は午年。開設20年目を迎える土佐黒潮牧場で、馬たちとの楽しい時間を過ごしてみませんか。

牧場見学は、午前9時～12時。詳細は問い合わせください。
土佐黒潮牧場 浦ノ内出見5 ☎088・857・0468
<http://www5.ocn.ne.jp/~hihin/>



馬たちは、寒い時期には馬着を装い、大切に飼育されています

税金のおはなし No.18

国保税の軽減とは…

国保（国民健康保険）税額は、世帯の国保加入者数と世帯全員の前年中の所得で決定します。世帯の所得が一定額に達しない場合、税額が軽減（減額）されます。軽減は、申請不要で適用されます（世帯に所得未申告者がいる場合、軽減の判定ができず適用されません）。

税務課 市民税係 ☎42・1291

1月の納税・保険料

国民健康保険税7期

後期高齢者医療保険料7期

1月31日（金）までに納付してください。
便利な口座振替をご利用ください。